

北里大学北里研究所病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	炎症性腸疾患患者のデータベース構築による治療効果予測 (No. 13034)
当院の研究責任者 (所属)	小林 拓 (炎症性腸疾患先進治療センター)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	慶應義塾大学医学部内科学 (消化器) 金井 隆典へ 当研究で得た試料・情報の提供のみ行います
本研究の目的	IBD 患者の患者背景、検査 (画像、血液) データ、臨床症状、治療内容を長期にわたりデータベース化することで疾患の特徴、テーラーメイドの治療に結びつけることを目的として行う。 提供する試料・情報は上記機関で下記に使わせて頂きます。 調査課題目) 「青黛 (もしくは青黛を含有している漢方薬) 服用患者に対する診療体制構築に向けた 2 次調査」 青黛は潰瘍性大腸炎に対する治療薬として注目されていますが、副作用など安全面に関しては十分にわかっていないことも多いため、今後の青黛の臨床応用に役立てるべく青黛の副作用の種類、原因、頻度などについて検討するため
調査データ 該当期間	倫理委員会承認日～2025 年 3 月 31 日
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さま 厚生労働省特定疾患難治性炎症性腸管障害調査研究班の診断基準改定案に準じて診断されたクローン病および潰瘍性大腸炎患者ならびにその類縁疾患 (腸管型ベーチェット病、非特異的多発性小腸潰瘍症)。 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データ
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	上記研究責任者に提供する。 提供する試料・情報は匿名化を行った後に回答用紙に記載し、FAX もしくは PDF または電子メールで提供します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	当該研究に関して炎症性腸疾患先進治療センターでは、2022 年度よりアヴィ合同会社の消化器 (IBD) 領域研究助成を受けております。利益相反については北里大学利益相反委員会で審査され、当該研究に関して、企業や団体などの研究の信頼性を損ねるような利害関係を有していないことが確認されております。
お問い合わせ先	電話：03-3444-6161 担当者：小林 拓
備考	